

園名	あそか保育園
日時	令和7年 2月

1, 活動テーマ

<テーマ>

5歳児・・・宙さんの真似をして遊ぼう

<テーマ設定理由>

・宙さんのコンサートを観て、身近なもので真似して遊んだら楽しそうだなと思った。

2, 活動スケジュール

・午前中に宙さんのコンサートを観た。
・午後の戸外遊びで身近なものを使って真似して遊ぶ。

3, 活動のために準備した素材や道具、環境設定

・ござ ・ビール箱 ・ベンチ
・砂場の玩具（バケツ、お皿、コップ、お玉、へらなど）

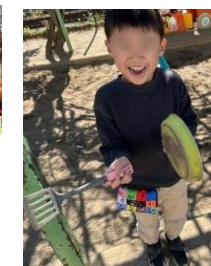
4, 探究活動の実践

<活動内容>

・宙さんが鳴らしていたフライパンや太鼓に似たバケツなど楽器に見立てられそうなものを探す。
・実際に叩くなどして音を鳴らしてみる。
・自分達で考えて玩具を重ねたり中に砂を入れたりして工夫して音を探す。

○音が出そうな玩具を探す

子ども：「宙さんの叩いてたフライパンだ」
 子ども：「これ(コップ)マラカスにできそう」
 子ども：「なら中に何か入れたらいいんじゃない？」
 子ども：「こんな風な四角いシンバルもあったよね」
 ・宙さんの動きや言葉を真似して音を出してみる
 子ども：「宙さんこうやって手で叩いてたよね」
 保育士：「何か言いながら叩いてたよね」
 子ども：「(声を揃えて)た！き！た！」
 子ども：「ドゥンダダタカタカ...似てる？」



○工夫してイメージした音に近付ける

・金属のお皿とプラスチックのお皿を重ねて叩く。
 子ども：「シンバルに似てる音が出た」
 ・コップやザルの中に石や砂を入れて振る。
 子ども：「石を入れるとカラカラ鳴る」
 子ども：「砂を入れると音が小さいね」
 子ども：「じゃあ一つだけ石を入れてみよう」
 子ども：「砂を撫でるだけでも音が出た」
 子ども：「この太鼓(バケツ)は音が大きいけど」



5, 振り返り

<振り返りによって得た保育士の気づき>

・宙さんのコンサートで驚きや楽しさなど色々なものを感じた中で、特に「自分もやってみたい」という思いが強かった為に遊びが広がったのではないかなと思う。砂場の玩具を鳴らして遊ぶ活動はこれまでもしたことがあったが、コンサートで聴いた音を再現しようと細かいところまで工夫が見られ、わずかな音の違いにも気が付いて友達同士で聞かせ合う姿が見られた。「た、き、た」など友達と声を揃えて言うことで一体感も感じながら楽しんで音遊びができたと思う。コンサートを通して音の楽しさ、表現することの面白さを知ることができてとても良い経験になった。